

「ことばの力」でみんなに笑顔届けたい

えがお
◎愛顔のなかよし講演会

講演を通して交流を深めていく



2月3日、泉小学校で「愛顔のなかよし講演会」が行われ、テレビやラジオ等で活躍する「らくさぶろう」さんが、「ことばの力」と題して講演を行いました。

らくさぶろうさんは、言葉の持つプラスとマイナスの力について具体例を挙げながら熱弁。「自分が言われたら嫌な言葉は人に使わないこと」「自ら命を絶つて親より先に死ぬようなこととはしない」の2つを、児童たちと約束しました。

また後半には、らくさぶろうさんによる落語を披露。一緒に言葉遊びを楽しみながら、児童たちに言葉のおもしろさを伝えていました。

祝・「鬼王丸」誕生から1年

◎鬼王丸誕生1周年記念イベント

重たい杵に園児たちは悪戦苦闘



昨年2月1日に行われた除幕式から1年。「鬼王丸」の誕生1周年を記念して2月3日、道の駅森の三角ぼうしでイベントが行われました。

会場には、近永保育所とさくら保育所の園児たち約40人が参加。当日が「節分の日」とあって「福はうち、鬼もうち」と「鬼王丸」にちなんだ元気な掛け声とともに、盛大に豆まきを行いました。

豆まきを終わると、園児たちは餅つきに挑戦。重たい杵を懸命に持ち上げ、力いっぱいおもちをついていました。

誕生から1年。「鬼王丸」の存在はますます大きくなっていくことでしょう。

歌で伝える想い「今を楽しんでほしい」

◎鬼北の医療と介護の未来を考える講演会

歌に合わせて全員一緒に「おー！」



「第6回鬼北の医療と介護の未来を考える講演会」は2月13日、近永公民館2階・講堂で開催され、200人を超える人たちが来場しました。

勝光寺住職である南慧昭氏を講師に迎え、「心の健康―出前歌説法―」と題して行われた本講演。南さんは、自身が製作した曲など6曲を披露し、その優しい歌声とともに、言葉一つ一つを観客の心にじんわりと響かせました。

最後の曲では、観客も一緒に歌を口ずさみ、一体感に包まれる会場。南さんは「躊躇せず1歩踏み出してほしい。そこから扉が開かれる」と最後に締めくくりました。

文楽通して、お年寄りに笑顔と元気を

◎泉小学校児童老人ホーム訪問

児童の演技を見つめるお年寄り



2月5日、泉小学校の鬼北文楽クラブに所属する児童8人が、興野々にある老人ホーム「ケアプラザあおぞら」を訪問しました。

児童たちは、会場に集まった約40人のお年寄りたちを前に、日頃の練習の成果を披露。演目「傾城阿波の鳴門・巡礼歌の段」の、娘を思う母の複雑な心境が表現された物語を巧みに演じる児童たちに、お年寄りたちからは温かな拍手が送られました。

泉小学校鬼北文楽クラブの児童たちは、鬼北文楽保存会会員の指導を受けながら、町内の施設への訪問を行っています。